

新聞雜誌

明治壬申七月

第五十四號

定價三匁



特	別
18	
787	
54	



緒言

凡天下ノ物事日ニ新ナルニ我未タ見聞キサルヲ知テ吾知識ヲ廣ムルヨリ
 樂シキハナシ見聞ノ狭キ田舎人ハ心頑ニ知暗シテ疑懼ムル多ク竟ニ我ヲ
 見トシ人ヲ非トスルノ過アリ今日カハル辱キ 御代ニ逢ヒテモ遠境ノ人ハ
 大政ノ事ヲモ知ラズ却テ疑非ル者モアルベシカクテハ逢カ多キ世ニ生レシカト
 ノシ今 官許ヲ受テ新聞私局ヲ開キ 大政ヲ始ノ諸府諸縣ノ變革
 又ハ里巷ノ瑣事外國ノ異聞マテ見聞ニ隨ヒ刊行スルハ我 日本國中
 ノ人々ト新知ヲ開クノ樂ヲ同シ頑心僻ノ事ヲ棄レテ 願ハ此冊子
 ヲ讀玉フ人々ヲ聞テニヲ推シ近ヲ知テ遠ヲ察シ天地間ニ我意外ノ驚可ク
 喜可キ事多ク唯一隅耳ヲ見ル田舎人タルヲ免ス夏垂氷ヲ疑ノ笑有リト知
 至ハサテコノ復古ノ 大御代ニ生レシ人タルニ負カシト云ヘケレ

新聞雜誌第五十四號 明治五年壬申

○七月上旬ノ御布令ニ從來香具師ト唱へ來候名目自
 今被廢止候事

但銘々商賣ノ儀ハ可為勝手事

○地所賣買規則第十三則ニ從來持地共追テ地券渡方
 ノ儀可相違旨掲載ヲヨヒ置候處即今已ニ賣買ノ者ハ
 地券相渡從來所持ノ者ハ不相渡候テハ不都合ニ付管
 下人民所持ノ者ハ最前相違候規則ニ準シ都テ地券相
 渡候様可致尤其代價ノ儀ハ田畑位付ニ不拘方今適當

代價差出地券面へ書載可致事

但本文地券相渡候儀ハ可成夫至急ニ取計都テ當十
月中ニ渡濟相成候様可取計若實無據次第有之延引
可相成見込ニ候ハ、其旨前以租稅寮へ可申出旨大
藏省ヨリ東京府へ達シ相ナリタリ

○今般拜借地ノ儀ニ付左ノ件々東京府ヨリ布達コレ
アリタリ

一華士族其他拜借地願濟ノ分追々券状可相渡候間別
紙ノ通り地名分ケ低價ヲ以拂下ケ候条地坪ニ割合本
兩替屋包ニ致シ来ル晦日迄ニ出納掛へ上納可致候事

一賜邸地續同様拜借願濟ノ分ハ前條同様上納可致事
一拜借坪數書出方若相違ノ儀有之ニ於テハ向後實地
檢査ノ上御拂下地價増減相違候儀モ可有之事

一賜邸有之候外ニ拜借地ニ邸ニ相成候分ハ比隣相當
ノ代價ヲ以可拂候條追テ相違候迄ハ上納ニ不及候事
一築地燒失跡道路御改正ニ付道式ニ拘リ候諸邸調中
ニ付低價上納此限ニアラス

一上納金ノ儀ハ朝第八字ヨリ午後第一字ニ限候事上紙
ノ砌別紙雛形ニカクノ器ノヲ、通半紙タテ堅紙帳ニ認ニ通宛可差出事
一來ル十三日ヨリ十六日迄休課ノ事

木挽町 築地 八丁堀 麴町 濱町 虎御門外
神田元誓願寺前北新堀 靈岸嶋 内神田 佐柄木
町 三河町

右ノ分千坪ニ付二十五圓ノ割合ヲ以上納可致事
小川町 駿河臺 下谷 淺草 飯田町 湯嶋 外
神田 本郷 末田馬場 番町 芝新錢座 赤坂
芝 本所 深川

右ノ分千坪ニ付二十圓ノ割合ヲ以上納可致事
小石川 根津 小日向 谷中 築土 駒込 目白
臺 牛込 音羽 市ヶ谷 大久保 四谷 青山

三田 麻布 渋谷 白銀 高田 雜司ヶ谷 小梅
染井 巢鴨

右ノ分千坪ニ付十五圓ノ割合ヲ以上納可致事

○明治四年辛未六月十六日大坂造幣寮相聞ケシヨ
當壬申五月止五日迄出来セル金貨十二百五十五萬五
千六百四十七圓ナリトゾ

○栃木縣管下上野下野兩國内ニ於テ當壬申年蠶種製
造高左ノ通

蠶種本部六萬三千二百四十枚 此製造人二百九十一人
本部一枚ニ付金五兩ノ積ニシテ代價金三十一萬六十

二百兩

蠶紙一枚ニ付繭一石五斗ノ概畧見積ニシテ九萬四千八百六十石

此繭一外ニ付金一分ノ凡積ニシテ代金二百三十七萬千五百兩

○今般各管内於社寺說教執行為致候間當申六月中第三條ノ通及布達候處地方模様ニヨリ平民ノ居室タリ
氏示談ノ上相對ヲ以借受致說教候儀モ有之候條於各府縣共旨相心得出願ノ者有之候節ハ其事實取糺差支ノ筋於無之ハ聞届可申旨教部省ヨリ御達相ナリタリ

○或扱書ニ方今如々ニ於テ說教所ヲ設ケラレ專ラ人
民教導ノ道相開カレタレ凡聽聞スル者至ツテ少ナシ
偶々聽聞スル者ハ夥ニテ古ヲ出シアガケル者之アル
由イカナレハ斯ク難有御趣意ヲ禁ニセルヤ横濱新聞
紙ニ同如林光寺和尚ノ講譯ニ太陽カ地球ヲ廻ルノ說
アルヲ非評セリ畢竟カ、ル無學ノ僧侶神官說教セ
ルヲ以テ人民ノ信仰モ從ツテ少ナキニ至レルナラレ
豈嘆カハシキ事ナラスヤ云々

○今般教則三条ノ御趣意ニ基ツキ猿若二丁目芝居ニ
於テ大塩平八郎ノ演技ヲ執行セル由或人ノ說ニ此度

ノ演技ハ教部省ヨリ仰セ付ラレタル御用芝居ナリト
果シテ如何ヲ知ラス

○石川縣管下ノ書生百人計リ縣廳へ献言セリ其畧ニ
士族へ従前ノ給禄十分一下シ賜フハ無益ノヲナリ願
ハクハ三分一之ヲ取揚ガ學校入費ニアテ行ハレ度云々
○額田縣管下ニ於テ近來郷學校ノ設ケアリシ處人々
大ニ奮真シ相競^キフテ入校ヒレ^レヲ企望セル由

○昨未ノ年中豚一頭ノ價五六百金ニ到リシカ今年ハ
マタ兎ノ價一疋五十金ニ騰^レレリ豚ノ高價ニ到リシハ
國産ヲ擴充^スヒレ^レカ為メ良種ヲ撰ラヒ海外萬里ノ異域

ヨリ取ヨセタレハ左モアルベシ然レ^レ兎ノ高價ニナ
リシハ其所以ヲ解セス益シ一時奸商共相計リテ好事^ガ
家ヲ欺^ガシ非常ノ利ヲ貪^ルラントノ所業ナランカ

○七月十日當社中へ羽後國由利郡本莊柵外士族醫師
岡部道菴ナル者當申ニ^テノ嬰兒^トヲ連レ来レリ此兒ハ
同人實子ニハ非ラス同郡瀧澤^ガ前郷村農尾留川新兵衛
ノ子ナル由右兒童陰處男女ノ兩躰ヲリ陰莖全ク具リ
ナカラ兩ノ畢丸ナリ陰莖ノ下ニ一小穴アリテ夫ヨリ
便尿ヲ通シ陰門ノ形ヲナセリ實ニ古今稀ナル奇兒ナ
リ右道菴貫^ヒウケ諸方名匠ノ研究治療ヲウケント願

ヘリ既ニ新瀉縣病院ニ於テ左ノ診察ヲウケタル由
 岡部道菴養女診定○是男性陰具畸形ニシテ誥リ畢丸
 胎中ニ於テ下垂セザルヨリ發スル也尿道ハ直キニ撰
 護腺下ヨリ開口スル者ニテ後害ヲ發スルニ非ラス即
 チ男性ノ養育ヲナシテ可ナラン

明治壬申五月 新瀉縣病院主医

若曾根宗桂
 柳野直

○或人ノ詔シニ近頃府下ニテ六ツカシト云角カジン
 クヲ聞ケリ此歌ハ専ラ官途ノ要ナリトソ歌ニ一ベツ
 カニシヤトツクニ三ベンキヨウノ四トヲ五抹用六理
 ナコト

○今般埼王縣ニ於テ管内人民ヲシテ文教ヲ昌ンニシ
 知識ヲ擴フセシメントノ趣旨ニテ各區コトニ學校與
 立ノ舉アリシ處同縣管下若槻町農齊藤善兵衛ナル者
 金百圓ヲ獻納シ右校費ニ備タリ當御時勢ヲ辨知シ衆
 人ニ先ダチ夥多ノ金ヲ差イダシタルハ田舎ニマレナ
 ル奇特ノ者ニ付縣廳ヨリ其真意ヲ褒賞シ若干ノ品物
 ヲ賜ハリシトゾ

○東海道濱松驛ヨリ遠州新所、新道ヲ闢ケリ本道今
 切ヲ渡ルニ比スレハ其近キト同日ノ論ニアラス海道
 ノ過客一度至ラハ其便利ヲ知ルベシ

○大坂府下ノ商人従前ノ旧習ヲ一洗シ新タニ會社ヲ
取立外國交際ハ勿論諸高賣等一入盛大ナラシメント
企テ最中ナル由

○頃日吉原不景氣ナルニ付絃妓一同申合セ来八月路
劇ノ催シヲ止メントシタリシカ吉原従来ノ壯觀ヲ廢
シテハ江戸ツ子ノ顔タ、ストテ見番ヨリ絃妓等へ化
粧代若干ヲ増シ予へテ是非共相催フセル由

○山口縣牧牛會社贅言ノ寫

三五年来肉食大ニ開ケ三府七十二縣到ル處屠場ヲ設
ケ都鄙ヲトリス貴賤ニ関ヒス皆以テ闕クヘカラサル

ノ物トナス因テ思フ十年前海内月ニ百牛ヲ屠ラハ今
ハ則日ニ千頭ヲ屠ルヘシ然ルニ今牧場ノ設ケ昔日ニ
異ナラス此盡ルアルノ物ヲ以テ窮リナキノ需メニ供
スルナリ其勢ヒ衆庶究之ニ苦シニ給ヲ海外ニ仰クニ
至ル猶鏡ヲ照シテ之ヲ視ルカ如シ國家ノ為メ深ク歎
セサルベケンヤ故ニ今各部有志ノ徒小廣ク會社ヲ結
ヒ大ニ牧場ヲ開キ上ハ富國ノ萬一ヲ補ナヒ下ハ衆庶
ノ究乏ヲ未然ニ防カント欲ス規則既ニ定リ用度亦備
ハル然レ氏是舉固ヨリ一社ノ私利ヲ營ムニ非ラス故
ニ廣ク會社ヲ結フヲ欲セサレハ近隣ノ同志ト謀リ適

意ニ施設スル固ヨリ禁セサル所ナリ若シ夫レ百丁ノ
山野牧場便宜ノ地從來村民ノ草蒔場ト唱エ開キ立テ
若シ支リアルカ如キハ部署ノ検査ヲウケ其實否ヲ決
シ而シテ其五十丁ハ果シテ實ノ草刈場ナレハ他ノ山
野ニフリカユベシ而シテ其地モ迂路險難村民ノ勞
若從前ニ異ナレハ牧牛一頭若干ノ稅銀ヲ出シ村民ニ
付與スル等ノ方法ヲ設クベシ之ヲ要スルニ各部有志
ノ徒是舉ニ左祖シ各其所見ヲ陳シ篤ク盡カラン
ヲ企望スルノミ

新聞雜誌第五十四號 終

報告

○新縣圖譜 折本

右者我邦新縣花鎮臺ノ兵數海陸里程傳信線路等其
概畧ヲ揭示シ更ニ着色ヲ加ヘ見ヤスカラシム真ニ
掌中至便ノ圖ナリ 發兌 日新堂

○余嘗テ齒ヲ病^ヤ一數年ソノ苦痛ニ堪ヘサルニヨリ西
洋ノ名医某ニツイテ其治法ヲトヒ齒磨ヲ製セシカ
其効驗少カラサルニヨリ多ク之ヲ製シテ普ク世上
ニ播布セントシ第三大區十四ノ小區赤坂田町二丁
目十一番地齋藤平兵衛ノルモノヲシテ賣弘シム西

洋齒磨齒固散ノ看板ヲカ、ケ出セリ

寐保計堂主人白

撰者伏テ四方ノ君子ニ告々奉ル本局既 官計ヲ得テ新聞紙ヲ刊行ス

其旨意ハ前ニ述レ所、如シ但高事異聞耳目ノ及ビテ多ク願クハ同好ノ人
何事ニヨラス其處々ノ新聞ヲ書集メ本局及自下ニ列スル賣弘處ニ寄セ玉
ハ、次第ニ刊行發兌スニ但寄玉フ書付ニ其住處姓名ヲ必マ載セ玉フ
可シ無名ノ書ハ取テ米入セバ無根ノ浮言造説アルヲ恐ルナリ

一切賣買ノ弘等望ニヨツテ出版スル事件

- 一 田地山林家屋舟車等ノ賣買貸借
- 一 新發明巧器及書籍等ノ賣買
- 一 產物器具食品藥劑等一切ノ賣買
- 一 金銀其外ノ貸借等
- 一 諸船ノ入湊出帆積荷ノ物件等
- 一 失物尋物等
- 一 店ヒラキ新規賣出等ノ引札
- 一 觀セモノ集會等ノ引札
- 一 右等何レモ一行セ三字一度出板價三匁宛同事件二度分ハ九匁五分
- ニテ御引受イタシ候

新聞雜誌定價 銀二匁 毎週出版

當時發兌時ヨリ先ニ二十冊分引受候向ハ定價ヨリ一割引
同四十冊分ハ三割引

右定ノ通約定前全受取候上ハ毎號發兌順序ヲ逐ヒ本局ヨリ御届致
候又遠方取次賣弘方望ニハ本局へ御引合上御相談可申候
本局
東京兩國若松町
新 堂

東京兩國横山町三丁目

和泉屋金右門

東京芝三島町

和泉屋市兵衛

大塚齋橋通

河内屋吉兵衛

西京東洞院三條上ル町

村上勘兵衛

東京日本橋通壹町目

須原屋茂兵衛

大塚心齋橋通

河内屋喜兵衛

大塚心齋橋通壹町

河内屋清七

東京日本橋釘店

和泉屋壯造

賣弘所

